

期日：2023年8月15日（火）

時間：19時30分～21時28分

場所：オンラインにて開催

出席者：一川邦彦、寺本祐治（副会長）、塩野谷住雄（以上監事）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊、成田健一（以上副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、下平歩実、桑原一矢、栗原崇、臼井伸一、高田良太、大野陽介（以上常任理事）、福島諒太（学連委員長）、味方まひろ（表彰委員長）、宮瀬幸希（競技委員長）、川勝浩輝（審判委員長）、内村拓人（広報委員長）、金子桃子（財務委員長）、関本隼（コンプライアンス委員長）、扇原柚子（書記）、西浦大道（学生役員）

【審議事項】

1. インカレ準備について～現在までの準備状況につき説明があり、必要な事項について審議を行った

① 福島学連委員長より、工程表に基づくインカレ準備経過報告があり、担当する各部門より説明があった。

・内村広報委員長より、インカレのチケット価格について、(3シナリオに基づき) スタンド席1日券・2日券通し価格・芝生席価格など考え方の説明があった。詳細は、広報委員会で検討を進める旨の報告があった。

昨年は各チームに有料チケットの割り当て（部員数分のチケット購入要請）を行ったが、今年への対応方針も同様に今後検討。また、今年に関東からの参加チームに広告確保（1チーム3万円）を要請する予定であるが（チケット割り当てと別にするかは未定）も、今後検討。

広告協賛についてもリスト化し、早めに動き、予算不足が発生しないよう対応することを確認した。

・味方表彰委員長より、「開会式・監督主将会議、閉会式、3・4位表彰式」についての式次第について説明があった。日本学生ホッケー連盟は（一社）への移行に伴い代表理事である小林和典様（東海学院監督）に挨拶をお願いするほか、一川関東学連副会長に表彰のプレゼンターをお願いすることを確認した。

・他、工程表の各項目について確認を行い、川勝審判委員長より競技役員の手配は、既に京王観光と連携して対応している旨の報告があった。

・また大会運営には相応の人員確保が必要であり、関東学連の加盟チーム全てが協力しないと、必要な人員が確保できない。今年は平日が3日あり、またイベントも開催予定であり、相応の人数確保が必須（特に初日での相応の人数確保が必要）。動態表作成については、宮瀬競技委員長より、今後対応する旨の報告があった。

・一川副会長（インカレ運営委員長）より、早い段階で学生幹部（福島委員長、各委員長など）をアメニスに紹介し、諸々の折衝を進めるよう対応したいとの発言があった。また、必要なテントの確保など、今後は具体的な設営をどうするかを踏まえて、準備を進めるよう指示があった。

② インカレ出場枠数及び大学大会出場校（B インカレ～9/8-9/10関西で開催）について、久我理事長より報告があった。2023年度インカレ関東出場枠数は男子8チーム、女子4チームであり、2023年度関東リーグ最終順位等により決定している。B インカレ出場校の東日本出場枠数は男子3チーム（関東及び北信越より）、女子4チームである。B インカレ出場校について、男子は北信越からの出場校（新潟大学）とのプレーオフを8/20に実施する。女子は、出場権を有する東京大学女子が人数不足により辞退した為、女子チームは3校での出場となることが報告された。

③ 宮澤事務局長より、実施要項案について説明があった。開会式・監督主将会議はリモートで行うなど修正点の説明があった。同実施要項については、最終的に次回日学連役員会で承認され、確定となる。確定次第、JHA に対し補助金の申請を行う旨の、説明があった。

また、2024年インカレについては、THA に協力いただき、グラウンド予約を申請済（9月末までに結果が出る予定）の旨、説明があった。具体的な予約日程は、「メインピッチ：10月30日～11月4日（10月30日

は午後から設営準備)、サブピッチ：10月30日～11月4日（10月30日は午後から設営準備)、多目的コート：10月31日～11月4日」となっている。

2. リーグ戦表彰の選出基準について及び表彰物の値上げについて

- ① 味方表彰委員長より、ベストイレブンの選出基準について提案された。単に獲得数によって選出してしまうと、ポジションや大学に偏りが生じてしまうという問題から、(これまで明文化された選出基準がなかったため)正式に明文化された選出基準が必要となった旨の報告があった。具体的には、同リーグに出場する大学の主将及び監督の投票結果に基づくが、フィールドはポジション及びチームのバランスに配慮し、選出する。また、最優秀選手や敢闘選手が同票であった場合は当該校の監督に判断を委ねることとなった。以上を審議、承認した。
- ② 味方表彰委員長より、表彰物発注先変更(リーグ戦、およびインカレ)に伴う対応について説明された。新たに松下徽章(株)に発注する旨の報告があった。発注先の変更により昨年度の実績より今回の見積もりが12%増となることが報告され、また表彰物の仕様についても承認した。

3. 秋季リーグパンフレット制作費について

- ・内村広報委員長より、昨今の物価状況から、秋季リーグパンフレットの見積もりは予算額を超過する見通しであることが報告された。パンフレット制作費用圧縮に向けて「収入を増やす策」「費用を減らす策」について説明があり、協議を行った。製作費用削減案として、紙を薄くして30000円の節約する方向について承認した。詳細の運営については広報委員会に委ねることとした。

【報告/連絡事項】

1. 秋季リーグの競技役員委嘱について

- ・宮瀬競技委員長より、競技役員の委嘱について報告された。
 - ・競技役員は以下の通りである。
 - テクニカル・デリゲート (TD) 高野 禎
 - アシスタント・テクニカル・デリゲート (ATD) 西澤 英一郎
 - TO マネージャー (TOM) 西澤 英一郎
 - アンパイア・マネージャー (UM) 成田 健一
 - アシスタント・アンパイア・マネージャー (AUM) 栗原 崇、高野 光洋

2. ホッケークリニック実施計画

- ・内村広報委員長より、8/27日曜日に大井ホッケー競技場サブピッチにて行われるホッケークリニックの詳細について報告された。1人1000円の参加費とし、男子の部12:00～15:00、女子の部16:00～19:00での開催予定である。現時点での参加者数は84名であり、収支の都合上16名以上の追加参加が必要である為、追加参加を検討してもらうべく依頼をしていく旨の説明があった。

3. 今後のインカレ準備委員会の開催日程について

- ・宮澤事務局長より、今後の役員会は必要に応じて開催するが、インカレ準備をしっかりと行うため、10/10火曜日・10/23日曜日(時間は19時半～、リモート)にてインカレ準備委員会を開催するとの報告があった。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 福島 諒太